

	七松小学校 学校だより	令和2年度 3月臨時号 尼崎市立七松小学校 校長 江上佳宏
---	------------------------------	--

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

《 学校評価 保護者アンケートについて 》

(評定は4段階)

領域	評価項目	評定
I 学校に関するもの	1 各種のたより、ホームページなどで、本校の教育活動や教育課題をわかりやすく伝えている。	3.2
	2 学校は、授業参観や行事、懇談会など保護者や地域住民との交流の機会をよく設けている。	3.1
	3 子どもの安全管理について、不審者の侵入を防ぐ対策が整っている。	3.1
	4 校舎内の清掃はいきとどいている。	3.2
	5 学校に入ると子どもの活動している様子が、その時々掲示されている。	3.3
	6 学校は、保護者・地域住民の声や願いに応える教育を積極的に行っている。	3.0
	7 学習の内容や進度などを、各種のたよりや懇談会などによって知ることができる。	3.2
	8 学校は新型コロナウイルス感染症防止策を適切にとっている。	3.2
	9 教職員に、子どもの心身の健康について気軽に相談できる。	3.1
	10 学級担任や教職員は、子どもの間違っただ行動は適切に指導している。	3.3
	11 学級担任や教職員は、子どもの心を育てる仲間づくりに取り組んでいる。	3.3
II 子どもと保護者に関するもの	1 子どもは進んで挨拶をしている。	2.9
	2 子どもは、学校に行くのを毎日楽しみにしている。	3.2
	3 子どもの生命を大切にす心や社会ルールを守る態度が育ってきている。	3.2
	4 子どもは、学級に居場所があり友達との絆があると思う。	3.4
	5 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	3.1
	6 学校から送られてくるいろいろな文書などは、ていねいに読んでいる。	2.9
	7 授業参観日や懇談会などには、都合のつくかぎり出るようにしている。	3.3
	8 子どもの様子は、変化があればすぐ学校に知らせている。	2.9
	9 子どもは、交通安全を守る等安全な行動や身を守る行動がとれる。	3.1
	10 家庭では、家庭学習、しつけや基本的な生活習慣に注意を払って指導している。	3.0
	11 学校での様子を子どもと話し合う機会をもっている。	3.1
	12 登校時や下校時には外へ出て子どもたちの安全に配慮している。	2.4

※あまっ子ステップ・アップ調査のテスト等においては、児童一人ひとりの努力の成果がみられました。人と比べるのではなく、自分自身の課題が克服できるよう、今後も学力向上に取り組めます。

《 学校関係者評価について 》

職員の学校評価や保護者アンケート等をもとにして、学校評議員会を開催し、その時にいただいた評価を以下に示させていただきます。(評定は4段階)

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む [評定 3]

- ・学習規律、学習習慣が身についている。基礎的・基本的な知識・技能が定着している。教科に必ず「言語活動」を入れることが思考力・判断力・表現力を身につけることに繋がるものである。授業の中で、子どもの努力を認め、誉める。誉められることにより、更に向上心が高まり学力の向上につながるものとする。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、ステイホームも含め、子どもの運動する機会が少なかった。体力や運動能力の低下が課題と言える。

2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る [評定 2.5]

- ・子どもの言葉遣いが丁寧である。また、すすんであいさつができるよう、家庭と連携し、引き続き取組をお願いしたい。
- ・新型コロナウイルスにより、社会も不安定になっている。子どものSOSをしっかりと受け止め、迅速な対応がとれるようお願いしたい。また、学校だけで抱え込まず、関係機関と連携をされたい。

3 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む [評定 3]

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域来賓や保護者の参観について、制限を行ったことは、子どもの命、地域住民の命を守る上で適切な対応であった。いきなり収束することは考えにくく、感染防止を徹底した上で、学校を開いていただきたい。
- ・子どもたちに主体的な学びを求める前に、教職員が受け身ではなく、目標を持って職務に取り組んでこそ、活力ある学校づくりにつながると考える。チームとして働きがいのある学校づくりは、子どもにも影響する。引き続き、必要な業務改善を行っていただきたい。

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る [評定 3]

- ・施設・設備管理に力を入れ、美しい学校づくりに取り組んでいる。予算との兼ね合いもあり、難しいが、危険箇所については、教育委員会と連携をとり、迅速な対応ができています。
- ・多くの交通量を通る校区なので、学校・家庭・地域と連携した安全指導を継続的に行っていただきたい。

○ 教育目標 [評定 2.5]

- ・すすんであいさつできる子どもとそうでない子どもがいる。引きつづき、しっかりあいさつできる子どもになるよう学校・家庭・地域社会で取り組んでいただきたい。
- ・学校内では時間は守られているようだが、朝、遅れてくる子どもが目立つ。あいさつ、あつまり、あとしまつがきちりできるよう学力と同様徹底をお願いしたい。

○ 研究テーマ [評定 2.5]

- ・読む・書く・聞く・話すいわゆる言語活動は、学習の基礎的・基本的な技能である。どんな教科においても大切にして指導いただきたい。
- ・G I G Aスクール構想に向けて、ルール作りが必要。保護者にも周知されたい。